

○施設名 城ヶ丘保育園

質疑	回答
収支状況の資料を請求します。	別紙のとおり
指定管理者制度移行後、保育士数及び給与条件等が直営時と比較してどうなのか？	市直営時（平成20年4月） 職 員 13人（調理員2人含む） 平均年齢 40.2才 平均給与（本俸） 308千円 指定管理者制度（平成23年4月） 職 員 16人（調理員2人含む） 平均年齢 36.3才 平均給与（本俸） 183千円 ※この比較は、平成20年4月の市職員の状況と平成23年4月の指定管理を受託した法人の職員の状況を単純に比較したものです。このほかに多数の臨時職員がおります。
意見	
近隣に大井幼稚園があり、近い将来幼保一体の「こども園」への移行を検討すべき。	
遊戯室が出来、以前と比べて環境が良くなった印象を持った。入り口の献立案内も良かった。	
保育時間も多様で便宜が図られていることは良いと思いますが、それに見合う保育料はいただいても良いと思います。	

○施設名 みさと保育園

質疑	回答
意見	
統合効果については今年度の数字と前年度の2園の数字の比較になる。⇒H25年度に効果額が出ます。	
郊外ののびのびとした環境の中で、ゆったり子どもが通うことができ、「みさと保育園」に通わせたいと思う人が増えてもいいと思う。	
既に他県においてはこども園に移行しています。それに通園の問題も距離を考えて統合してほしい。	

○施設名 山岡学校給食センター

質疑	回答
地元（野菜等の供給先）は山岡町だけか？恵那市全域から野菜の供給は受けられないのか？	恵那市全域からの供給は可能で、現在も行っています。供給先の安定供給が確立される必要があります。
おばあちゃん市の食堂施設のセントラルキッチン的に調理機能の一部担当は不可能か？	学校給食は、厳しい衛生管理基準にそって安心、安全な給食を提供しています。よって、他の食堂施設等の機能を取り込むことは現状では不可能と思われます。
大井、山岡、岩村（→上矢作）、明智（→串原）に給食センターがあるが、更なる統合はできないか。	運営形態については、指定管理者制度を導入すべきか協議検討を行っています。その中で、施設の統廃合も検討することとなります。

○施設名 山岡学校給食センター

質疑	回答
現在の給食を作る能力は手いっぱいなのか。また、あるとすれば地産地消を含め量的な点で検討したらどうか。	学校給食を提供するには現状の人的な体制からは手一杯の状況です。
(経費+材料費+維持管理費) / 給食数はいくらになるのか。	H23年度の決算状況では維持運営費の合計は104,485千円、給食数は142,907食です。 1食当り731円となります。
意見	
以前視察した時と地産地消の率（量）が変わっていない。（大幅アップしていない）何ともならないものかと改めて思った。	
1. 施設を維持するには多面的な利用を考えるべきだ。 2. 農産物の自給率が低いため検討が必要。	
何年か前に同じ内容で視察したが、変化が見られなかった。 他センターとの統合の判断が必要と考えます。	

○施設名 山岡コミュニティセンター

質疑	回答
年間50万円程度の図書購入費で独立した魅力ある図書室になるのか？	山岡コミュニティセンター図書室は国の交付金を活用し、旧山岡保健センターを改築整備したもので、公民館図書室という位置づけであり、他の公民館図書室と同じく中央図書館の分館という捉え方はしていません。図書購入費に当てる予算も平成23・24年度に限り国の交付金を活用した関係で増額されておりますが、通常は図書購入の予算は最低限になっています。 今後、最小の投資で効果を上げるため、中央図書館や他のコミュニティセンターとのネットワーク化と図書配送システムにより、市民のご要望に対応してまいります。
市役所と振興事務所との定期便を活用すべき。図書専用便では非効率ではなはだしい。	図書配送便は、中央図書館を基点とし市内全小中学校23校とコミュニティセンター11館の合計34施設を週1回巡回しているものです。利用は学校の朝読書の定着化や地区コミュニティセンターとのネットワーク化などにより年々増加しています。 本の配送が主ですが、本はコンテナ（52*36*27）平均20kgと配送便袋、刊行誌（紙）などの資料もこの定期便に乗せています。コンテナ数は、平均30箱／1回（約600kg）積んでおり、業者と委託契約により貨物自動車による輸送となっております。 一方、文書配送は公文書に限り市役所と振興事務所との間で毎週月・水・金曜日の午後から旧恵南地域の各振興事務所5ヶ所を巡回しています。現在は公文書等における守秘義務の徹底を図るため直接職員が乗用公用車を使用して配送業務を行っています。 この二つの業務は積載物の質、量、配送先、そして時間、頻度とも全く異なっていることから現在のところ供用は不可能と考えます。

○施設名 山岡コミュニティセンター

意見
利用者の少なさが気になった。
多目的施設として活用すべきで、図書室だけでは効率が悪い。
予算の関係 図書数が不十分。充実を図りながら地区利用について検討
利用頻度に疑問です。振興事務所と併設しているので、実績を見て結論を出していきたいです。
図書室の書架は新規購入ではなく、中央図書館の管轄下でPCを利用した貸し出しシステムを考え、経費節減を追求すべき。
コミュニティセンターは各地域での指定管理とすべきと考える。

○施設名 明智保育園

質疑	回答
意見	
明智町内の2保育園の統合を進めるべきだと思う。	
すばらしい施設。どこの保育園も同じだが、あとはソフト面でいい子を育ててほしい。	
統合の課題があるが、地区の理解に努力すべき	
吉田との統合で当面は良いと思います。	

○施設名 介護老人保健施設ひまわり

質疑	回答
入所希望者がたくさんいることが分かった。需要があるということだが、働く人は足りているのか？働く人は地元の人が多いのか？	育児休業となっている職員もいますが、その分を臨時職員で補っています。今現在は、足りていますが、定年等で退職者が出た時、職員の補充が課題です。職員は地元の出身者が多くいます。
施設の事業内容で80%近くがマンパワーにかかる人件費で占めている。指定管理者制度でやっていけるのか？	人件費が占める割合は高いですが、指定管理者制度の下で民間の経営力を活用し、利益が出るような運営ができると思います。
他市・県との同施設の比較は（一人当たり介護費）	岐阜県作成の「平成22年度市町村財政の状況」によると、県内で比較できる自治体は海津市のみで、2市の一人一日当たりの介護費を比較しますと、恵那市が12,598円で、海津市が12,281円となっています。
意見	
収益的収支の支出に占める人件費比率70.2%	
外観を重視した建物に必要以上の非常に大きな金額がかかっている。	
将来的には市職員で管理するのではなく、施設管理方式を考えていく必要がある。	
必要な施設なので採算の合う利用料を逆に算出してほしい。	

○施設名 明智かえでホール

質疑	回答
外観は色落ち・はがれなどで老朽化しているが、中はしっかりしていて十分このままでしばらく使えると思うので、外装修繕はせずこのままでいけないのか。	屋根の老朽化による雨漏りなどにより、内部にも影響が及ぶため、内装よりも優先して修繕する必要があります。また、内装については、音響設備が耐用年数を過ぎており、施設の運営に支障が生じないよう、更新が必要となっています。
修繕費はいわゆる投資的経費であり、資本的収支は示されていないのか？	現在の一般会計には示されていません。施設や設備の耐用年数は過ぎており、運営に支障が生じないよう、修繕が必要となっています。
意見	
建築後18年。老朽化による修繕費が負担というが、収支には修繕費の計上がない。修繕費はいわゆる投資的経費であり、資本的収支は示されていないのか？ 駐車場が狭い 支出のうち、約510万円が舞台管理委託料 隣接地に回想法センター（この施設の運営状況にも興味がある）	
駐車場が少ないため、これから検討が必要と思う。老朽化しており、修繕費等を考えると再検討が必要。	
現在の状況では駐車場が不足。これほどの施設は、新設するならば恵南5地区の中で検討。	
文化センターとかえでホールは残したいと思います。	
隣接施設との見直し統合による施設削減及び指定管理者制度による経費削減案が必要。	
修繕費が大きければ廃止も選択の一つとして考えるべきである。	

○施設名 恵那市恵南衛生センター

質疑	回答
バイオマスタウン構想は汚泥・し尿処理だけか？	バイオマスタウン構想で取り組む方策は、以下のとおりです。 ①下水汚泥堆肥を利用したバイオマスファームでの景観・資源作物生産と観光活性化 ②家畜排泄物の堆肥化による一般農地の地力改善 ③食品系廃棄物の循環利用による恵那ブランド商品の高付加価値化 ④森林資源を原料とした木質ペレット・チップ・炭の生産と燃料利用 なお、それぞれの方策は、進み具合、具体化に差があります。
上下水の完備は常識となっています。法律上の問題も民営化によって解決できるようにならないでしょうか。	市内には様々な理由によりまだまだし尿汲み取りの家庭があります。（市内約19,000世帯で約3,000世帯が汲み取りです。） 市では、合理的な様々な取り組みを模索している段階です。なお、民営化がすべて是ではないと考えます。廃棄物行政は、官、民間問わず、厳しく一律に規制があります。新たに委託料が発生します。突然の撤退等の危惧もあります。合理的な経営手法は必要ですが、本来、利益がでるものではありません。
意見	
合理化を図って、新施設を造るのだから、建物の建設から運営に至るまで効率化を極めてもらいたい。	
事業目的にあるバイオマスファームへの還元に対する計画が未定との説明があったが、恵那市バイオマスタウン構想が上げられている以上、実現に向けた具体的な実行計画がないまま、設備投資を進められることは事業としておかしい。	

○施設名 串原小中学校

質疑	回答
意見	
小規模校では児童生徒は兄弟のように仲が良くなる反面、社会性の発達に懸念がある。小規模中学校では、部活に限界があったり、実質的に不可能となる。	
小学校の統合は、低年齢児の体力、地域社会との関わり、登下校時の子ども同士の関わり等から必ずしも基準どおりの運用は厳しいかもしれない。	
今のままでいいと思う。あとは、できる範囲で効率を考えて、コストを下げる努力を。	
説明があったように小中一貫校の中で具体化	
現在が小中一貫校で確立しているので、中学校の統合に賛成ですが、小学校が取り残される不安があります。13の枠を超えての合併、統合が必要と思う。	
スクールバス通学による明智との統合が望ましいと考えます。	
通学路確保のための道路整備が必要と考えます。	

○施設名 サンホールくしはら

質疑	回答
体育館的に使うならば、利用者は無いこともないのでは？	串原地区は、市に登録している活動団体はスポーツクラブとサッカークラブが各1団体しかなく、小中学校の体育館等の利用で充足してしまっていると考えられます。
意見	
単独維持は今後難しい。近辺の施設との一体的な利用を考えることが必要であり、再検討の時期が来ている。	
ささゆりの湯と関連した施設に利用	
住民数を考えると維持管理は無理と考えられます。	
施設の特質上、地元単独の管理運営とすべき。（管理運営の範囲を明確化すべき） 施設の維持管理費を文化課が担うのはおかしい。	

○施設名 特別養護老人ホーム福寿苑

質疑	回答
入所希望者がたくさんいることが分かった。需要があるということだが、働く人は足りているのか？働く人は地元の人が多いのか？	病気療養中の職員と3月の定年退職者の補充がなく、その分を正職員と臨時職員で補っていますが、職員の補充が課題です。職員は地元の出身者が多くみえます。
他市・県との同施設の比較は（一人当たり介護費）	○一人当たりの介護費 ・「福寿苑」（平成23年度決算書案） 14,727円 ・「サンリバー松風苑」海津市直営（平成22年度岐阜県市町村財政状況資料） 11,781円
経費の中に施設管理費全てを含むか。	質問のとおり全て含みます。
意見	
収益的収支に占める人件費比率69.6%	
働いている人が一生懸命でプラス笑顔や優しい接し方もありすばらしいと思った。	

○施設名 特別養護老人ホーム福寿苑

質疑	回答
将来の若い人たちに負担を少しでも軽減する。維持管理を市民全体で考えるべきである。	
“ひまわり”と同様な見方、但し、上矢作病院との関連で位置付ける。	
ひまわりと同様に必要な施設であり、増設も考えるべきでしょう。失業保険を支払うより、低賃金に補助金を出すべきでしょう。	

○施設名 上矢作コミュニティセンター

質疑	回答
駐車場も広いし、一緒になることは良かったと思う。今の振興事務所のある場所に比べ、街中から離れているので、用事のある交通手段を持たない人は大丈夫だろうか？	1. 自主運行バスの停留所をコミュニティセンター前に設置（中学校前をコミュニティセンター前に位置変更）するよう調整して行きます。 2. 振興事務所への交通手段に限らず、上矢作地域は高齢化により移動手段に不安を感じる住民が増えていることから地域で支え合う移動サービス事業を試行して行きます。
振興事務所と併用で新たな拠点とすべき。	生涯学習、地域振興、地域まちづくりの拠点施設として利活用していきます。
意見	
近隣に使用していないと思われる建物建設、体育館がある。体育館は上矢作に3棟？	
位置的にも適正と思います。	
コミュニティセンターは各地域による管理運営とすべき。市と地域の役割責任の範囲を明確にして管理すべきと考える。	

○施設名 上矢作振興事務所

質疑	回答
意見	
廃止	
時代の流れだと思います。更地にすべきでしょう。	
コミュニティセンターの管理と振興事務所は切り離して運営すべき。振興事務所は上矢作町との貸借契約により部分運営すべきと考える。	
振興事務所の人員数は現人員が必要か（全振興事務所）？本庁との業務分担、ITの活用による削減策の検討も必要と考えます。	

○施設名 飯羽間浄化センター

質疑	回答
意見	
浄化センターなのに建物が立派すぎたのではないかな。	
納得でした。	

○全体に関する意見

意見
現場を見て、直接職員に質問することにより実態が把握できた。会議も必要だが、こうした機会が定期的にあると良い。しかし、今回は強行軍。
恵南の箱物には過大な投資がされている。建物の外観。合併前の旧町村人口に見合わない過大な収容人員や能力。旧町村内の同様機能の施設の存在。 建物は補助金や交付税等で賄われていてもすべて税金で賄われている。負債の未来への譲渡。当時は「運営」「経営」という視点が欠けていたと思われる。
市職員の中には効率運営に対する意識欠如、工夫が足りない様子が見られる。
様々なハードルの存在があるというものの、早急に廃止、早急に民間への売却又は賃借、指定管理者制度にした方が良い施設も多い。
教育は算盤勘定だけではできないというものの、中学校の更なる統合は避けて通れない。
最初は14施設も視察するのか・・・と思いましたが、行ってみて、そして意見・質問を書くことになって、関連施設をうまく比較しながら視察することができるとても内容のあるコースだったと思いました。
西村先生のゼミの生徒さんのように、全く市と関係のない人達が同行してくださることで、また外からの違った目や新しい感覚が聞けるのでよかったですと思います。
地域の管理責任範囲、市の管理責任範囲を明確にして施設の管理を明確にすべきです。
コミュニティセンター、サンホールくしはら等は地域の管理とすべきです。
保育園、介護施設以外の運営費を住民一人当たりいくらを出して比較できるようにしてください。（他市・県との比較も必要）
旧郡部と旧市では施設の充実度に大きな差があることに疑問を感じた。